

日本青年心理学会研究委員会企画 ワークショップ開催のご案内

日本青年心理学会研究委員会では、2018年から2020年までの3年間に渡る新たな長期的テーマを「青年期から成人期への移行の多様性」として、さらなる青年理解に向けた検討を行っていきたく考えています。

そのなかで、2019年は「勤労青年と大学生の移行の多様性」を短期的テーマとして、以下の日程・場所でワークショップを開催いたします。会員のみなさまには、ふるってのご参加をお願いいたします。また、非会員の方も歓迎いたしますので、関心のある方がいらっしやいましたら、お声がけください。

□第4クール(2018年～2020年)の長期的テーマ

「青年期から成人期への移行の多様性」

□ワークショップ概要

日程 2019年2月16日(土) 13:30～16:30

場所 京都大学吉田南1号館201

京都市左京区吉田二本松町

<https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/access/>

内容 「青年心理学はなぜ勤労青年を取り上げないといけないのか」(話題提供：白井利明(大阪教育大学))

私の答えは「社会構造(社会階層)を考慮に入れなければ現代青年が理解できないから」である。これまでの我が国の青年心理学は社会構造をどう扱ってきたか、現代の成人期への移行の多様性をめぐって海外ではどんな議論があるか、お話ししたい。

参加費 無料

その他 ワークショップ終了後に、懇親会を予定しております。

ワークショップ担当：山田剛史(京都大学)

会場・懇親会担当：山田剛史(京都大学)

□申し込み・問い合わせ

ワークショップ・懇親会への参加申し込みについては、人数確認・資料準備等の都合上、可能な限り、事前に吉田までご連絡ください(当日の参加も可能です)。

【申し込み・問い合わせ先】

立正大学 吉田加代子 yoshida.kayoko@ris.ac.jp

※件名に「青年心理学会ワークショップ参加申し込み」とお書きください。